

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.20

開催地：あさぎり町

平成 19 年 8 月 24 日（金）、あさぎり町ポッポー一館において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 10 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

町内	9 名
町外	2 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・小委員会に、環境分野の先生を数人入れてもらったら良かったと思う。

【球磨川の治水対策について】

- ・中島地区、川辺地区は水害の常襲地帯であったが、中島地区は球磨川改修工事により、川幅を 2 倍にするなどして守られてきた。
- ・S40 年に五木大水害が起こり、S40 年代には人吉で水害が頻発し、S47 年、S57 年も水害が発生した。それ以来人吉では大水害が無いと記憶しているが、それは、建設省により立派な堤防ができたことや、人吉橋と織月大橋の間の川幅が広がったことのおかげだと思う。川幅と堤防をもう少し整備するともっと人吉が安全になるのではないか。
- ・人吉の人がなぜあんなにダムに反対するのか疑問。国土交通省ももう一回人吉住民の話を聞いてみたらいいと思う。
- ・ダムの予算を使って人吉にダム水害基金を設けて補償が出来るようにしたらよいのではないか。
- ・大淀川の平成 17 年の水害被害でダム建設に向けた意見がでないのはなぜか。また、国はなぜ大淀川ではダムの話をしないのか。

【球磨川の環境について】

- ・昔は川の幸がすばらしく、6 月 7 月にはウナギ取りが子供たちの仕事になっていたが、荒瀬ダムが出来てから、ダムより上に来なくなってしまった。
- ・子供の頃の球磨川には、大きな石がいっぱいあり、みんなで川に泳ぎに行き遊び、子供なりに人間関係の育成とか自然の大切さを学んできた。
- ・河川に入る道路に鎖がしてある。ゴミや廃材の不法投棄などを防ぐ目的だと思うが、川まで重たい荷物を持っていかなければならず、アユ釣りをする人間にとっては迷惑。（鎖がなくても）漁協と協力して、不法投棄があったら通報するなど協力を求めることができると思うので検討してほしい。
- ・毎年 6 月頃に球磨川がいつも濁ってくる。ちょうど田んぼの代掻きの時期と一致しているが、8 月になっても濁りがとれない。タバコの後の稲作のための代掻きの影響もあるかもしれないが、原因を聞きたい。田んぼの一番大切な時期に土の微粒子を流すようなことはやっていないと思う。
- ・大雨が降った後、数日してから市房ダムを見に行くと、ダムの水は青々としてそんなにひどい濁りではなく、ダムも放水していないにもかかわらず、川をみると真っ赤な濁り水が出ていることがあった。どこから出ているかよく分からないが、第二ダムの方から濁り水がいっぱい出ているのだろうと思う。
- ・今年はアユがあまり釣れない。
- ・矢黒のさざなみの瀬によく行くが、今年は川底に土砂が堆積している。撤去ができないものか。建設業者に撤去してもらおうとか、砂利採取を許可すればタダで喜んで採ってくれるのではないかと思う。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

